

データシート

# VIAVI

## 4100 シリーズ FiberComplete PRO モジュール

MTS-2000 V2、MTS-4000 V2、OneAdvisor 800 プラットフォーム用

FiberComplete PRO™ は、1 つのモジュールの 1 つの光ポートから双方向挿入損失 (IL)、光反射損失 (ORL)、光時間領域反射率測定 (OTDR) などのすべての基本的なファイバー適合性テストを完全に自動化した初のソリューションです。

この装置 1 台で従来のファイバーテスト要件のすべてを満たすことができます。MTS-2000 V2、MTS-4000 V2、OneAdvisor 800 プラットフォーム用の VIAVI 4100 シリーズ FiberComplete モジュールは、ポイントツーポイントやポイントツーマルチポイントのパッシブ光ネットワーク (PON) を素早く容易に特性評価できる最も完全なファイバーテストソリューションです。

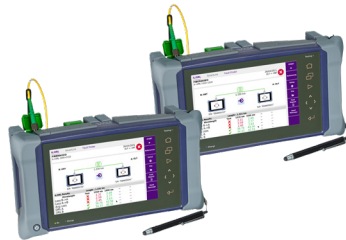
### 対応プラットフォーム

MTS-2000 V2



光ファイバーネットワークテスト用 1 スロット・ハンドヘルド・モジュール式プラットフォーム

MTS-4000 V2



光ファイバーネットワークテスト用 2 スロット・ハンドヘルド・モジュール式プラットフォーム

OneAdvisor 800



有線および無線ネットワークの導入と保守用に設計されたモジュール式テストプラットフォーム

### 特徴と利点

時間を最大 80% 節約:

- 自動損失測定平均化機能を備えた最速の完全双方向ファイバーソリューションで作業をより早く完了
- 作業やコントラクターのワークフロー効率と一貫性を確保
- クラウドへのレポートの直接送信 (StrataSync TPA サイト)

確実な測定:

- コールバックやリピートを減らし、テストしながらは正作業を実施
- 現場外作業、後処理作業、レビュー時間をなくす
- テストの複雑さ、手動プロセス、および人的エラーのリスクをなくす

### アプリケーション

ネットワークの新規構築と保守:

- データセンター (構造化配線、キャンパス、相互接続)
- アクセス FTTx、モバイルフロントホール
- CATV 分散型アクセスアーキテクチャ
- ワイヤレスバックホール/CRAN/5G x-haul
- メトロおよびコア/長距離ネットワーク



## 仕様 (25°C 時の代表値)

一般仕様	
重量	0.35kg (0.77 ポンド)
寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	128 × 134 × 40mm (5.04 × 5.28 × 1.58 インチ)
使用可能なファイバー	SMF 9/125μm
交換可能な光コネクタ	FC、SC、LC (PC または APC)

### 損失テストセット機能

#### 挿入損失

損失レンジ	40dB <sup>1</sup>
不確実性	±0.2dB <sup>2</sup>
再現性	<0.05dB <sup>3</sup>
結果分解能	0.01dB

#### 光リターンロス

ORL 表示レンジ	最大 +55dB <sup>4</sup>
不確実性	±0.5dB <sup>5</sup>

#### 長さ<sup>6</sup>

測定レンジ	150km
不確実性	0/+5m±0.001% x 距離

### OTDR

	中心波長	パルス幅	RMS 動的範囲	イベントデッドゾーン	減衰デッドゾーン
4100 B	1310/1550/1625/1650nm	5ns~20μs	42/40/40/40dB	0.65m	2.5m <sup>7</sup>

パワーメーターのオプションを含むその他すべての OTDR 仕様については、「4100 シリーズ OTDR B モジュールのデータシート」を参照してください。

### 光源 (CW および OTDR モード用)

レーザーの安全性等級 (21CFR)	クラス 1
25°C 時の波長	1310±20nm、1550±20nm、1625±10nm <sup>8</sup>
出力パワーレベル (CW モード)	-3.5dBm <sup>9</sup>
変調出力平均レベル	3dB 未満
変調周波数	連続波 270Hz、330Hz、1kHz、2kHz
安定性 (8 時間にわたる)	±0.05dB
出力パワー確度	±0.65dB

### 内蔵メインフレームパワーメーター

(パワーメーターの仕様の完全なリストについては、「メインフレームユーザーマニュアル」を参照してください)

MTS または OneAdvisor 800 メインフレームには、参照用のブロードバンドパワーメーターオプションが必要です (損失テストセット機能)

測定範囲	+5~-50dBm
絶対不確実性	±0.2dB
波長レンジ	800~1650nm

- 多芯ファイバー MPO ベースのスイッチモジュールで 35dB
- 多芯ファイバー MPO ベースのスイッチモジュールありなし
- 切断なし
- 多芯ファイバー MPO ベースのスイッチモジュールで最大 45dB
- 多芯ファイバー MPO ベースのスイッチモジュールで 10~45dB の範囲 ±1dB

- 屈折率 n = 1.468、1550nm 時測定
- 1310nm で 5ns のパルス幅を使用して、FC/UPC タイプの反射率を使用した線形回帰から ±0.5dB 下で測定
- CW 25°C レーザーで 1625nm ±20nm
- ±1dB

## ソフトウェアオプション選択表

説明	IL/ORL (CW モード)	OTDR		
		双方向	一方向	自動ループバック
4100 モジュール B FiberComplete	✓	✓	SW オプション 1 または 3	SW オプション 2 または 4
4100 モジュール B FiberComplete FaultFinder	✓	✗	✗	✗

## オーダー情報

OTDR および FaultFinder 機能搭載 FiberComplete モジュール*	
説明	パーツ番号
4100 モジュール B FiberComplete - 1310/1550nm - PC/APC	E4126B-FCOMP-PC/-APC
4100 モジュール B FiberComplete - 1310/1550/1625nm - PC/APC	E4136B-FCOMP-PC/-APC
4100 モジュール B FiberComplete - 1310/1550/フィルター済み 1650nm - APC	E4138FB65-FCOMP-APC <sup>10</sup>
4100 モジュール FiberComplete FaultFinder - 1310/1550nm - APC	E4126-FCOMPFF-APC
4100 モジュール FiberComplete FaultFinder - 1310/1550/1625nm - APC	E4136-FCOMPFF-APC
新しいモジュールのソフトウェアオプション	
OTDR ループバック SW ライセンス (オプション 1)	ELOOPBACK-FCOMP-PRO
TrueBIDIR (双方向 OTDR 分析) SW ライセンス (オプション 2)	ETRUEBIDIR-FCOMP-PRO
既存のインストール済みモジュールのソフトウェア オプション	
OTDR ループバック SW ライセンスのアップグレード (オプション 3)	ELOOPBACK-FCOMP-PRO-UPG
TrueBIDIR (双方向 OTDR 分析) SW ライセンスのアップグレード (オプション 4)	ETRUEBIDIR-FCOMP-PRO-UPG
ファイバー数の多いスイッチ モジュール	
シングルモード MPO スイッチモジュール - 12 ピン MPO x 1	E41MPO12SM
アクセサリ	
20m SM ファイバー起動ケーブル - SC/APC から SC/APC へ	ELCSM20M-SCA-SCA
150m SM ファイバー起動ケーブル - SC/APC から SC/APC へ	ELCSM150M-SCA-SCA
恒久的なファイバー起動ケーブル接続用のネクストラップ付きのハンズフリーソフトケース	E40GLOVE2
デジタルビデオスコープキット (P5000i プロブ、ソフトケース、検査用ティップ 7 個付属)	ESDFSCOPE5KI
後処理用光ファイバーケーブルソフトウェア	EOFS200

10. Bidir では 1310nm および 1550nm のみを使用。IL/ORL CW モードアプリケーション

### \*FiberComplete モジュールの付属品:

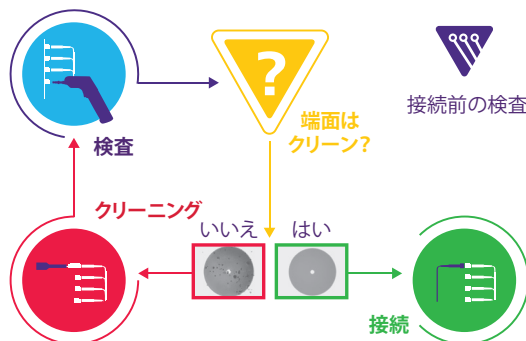
- ビルトイン光源
- 内蔵パワーメーターのソース
- コネクター出力: SC PC または SC APC
- ORL 参照がゼロの場合の SC および LC の非反射終端 (マンドレルに相当) を備えた参照キット 曲げの影響を受けないテストコードまたは PC コネクターを使用する場合は必須です。

## テストプロセスの自動化 (TPA)

エキスパートレベルのテスト結果を提供し、いつでも初回の試みでプロジェクトを完了できます。TPA はワークフローを最適化し、エラーが発生しやすい手作業を排除し、ジョブの終了、チームの進捗状況の更新、ネットワークの健全性分析に関する即時データレポートを自動作成するクローズドループテストシステムです。効率的にジョブを実行することで、高品質のネットワーク構築、迅速なターンアップ/アクティベーション、および運用の可視性向上を達成できます。

## 接続前の検査 (IBYC)

光ネットワークのトラブルシューティングの一番の理由は汚れです。ファイバーコネクタの予防的な検査とクリーニングにより、信号性能の低下、機器の損傷、およびネットワークのダウンタイムを防止できます。



## VIAVI ケアサポートプラン

オプションの VIAVI ケアサポートプランで、最大 5 年まで生産性を向上できます。

- オンデマンドトレーニング、優先的なテクニカルアプリケーションサポート、迅速なサービスにより、時間を最大限に活用できます。
- 予測可能な低コストで最高のパフォーマンスが得られるように機器を保守します。

プランをご利用いただけるかどうかは、製品と地域により異なります。すべてのプランがすべての製品またはすべての地域でご利用いただけるわけではありません。お住まいの地域でこの製品に利用いただける VIAVI ケアサポートプランのオプションについては、地元の代理店にお問い合わせいただくか、次の URL にアクセスしてご覧ください：

[viavisolutions.jp/viavicareplan](https://viavisolutions.jp/viavicareplan)

## 特徴

\* 5 年プランのみ

プラン	目的	技術アシスト	工場修理	優先サービス	自己ベースでのトレーニング	バッテリーとバッグの 5 年保証	工場出荷時の校正	アクセサリの保証	緊急貸し出しサービス
 BronzeCare	作業者の効率	プレミアム	✓	✓	✓				
 SilverCare	保守と測定確度	プレミアム	✓	✓	✓	✓*	✓		
 MaxCare	高可用性	プレミアム	✓	✓	✓	✓*	✓	✓	✓



〒163-1107  
東京都新宿区西新宿6-22-1  
新宿スクエアタワー7F

電話: 03-5339-6886  
FAX: 03-5339-6889  
Email: support.japan@viavisolutions.com

© 2024 VIAVI Solutions Inc.  
この文書に記載されている製品仕様および内容は  
予告なく変更されることがあります  
fibercomplete-ds-fop-tm-ja  
30176166 916 0124